

## ト杯・ユ杯 2006 大会 マッチ(試合)、対抗戦(2複3単)所要時間(分)について

今年のト杯・ユ杯大会は、新スコアリングシステム(ラリーポイント制の 21 点 3 ゲーム)で行なわれました。

大会前には、ラリーポイント制のためマッチ(試合)の時間が短縮されるであろうと言われていました。

ところが、ト杯・ユ杯大会のデータを基に考えてみますと、必ずしも短縮になっていないことがわかりました。

マッチ所要時間(分) \* プレーオフは割愛しました。

## 予選リーグ戦

	MS	MD	WS	WD
平均	31.1	28.1	28.5	29.9
最短	18	14	17	15
最長	55	60	52	55

## 決勝トーナメント

	MS	MD	WS	WD
平均	39.7	41	41.6	30.8
最短	25	20	24	23
最長	69	56	63	46

上の表から、予選リーグ戦では、男女単複とも 30 分前後でしたが、決勝トーナメントでは、実力伯仲の試合が多かったためか、

男子単複は 40~41 分、女子複は 31 分  
でしたが、何と

女子単は 男子を超えて 41.6 分  
という思いがけない結果でした。

世界大会ですから、プレーヤーの技能は高く、ラリーも長く続くので当然と言えるかも知れません。  
なお、対抗戦の所要時間を参考のために添えますと次の通りでした。

ト杯準決勝デンマーク vs マレーシアとユ杯準々決勝の日本 vs オランダ戦は、延々4時間強の団体戦でした。

## 予選リーグ戦

男子 最長 インドネシア vs 韓国 207 分 最短 インドネシア vs ニュージーランド 110 分  
女子 最長 ドイツ vs シンガポール 196 分 最短 日本 vs ロシア 86 分

## 決勝トーナメント(最長)

男子準決勝 デンマーク vs マレーシア 256 分  
女子準々決勝 オランダ vs 日本 254 分